

無痛分娩のご案内

初産婦の方へ

当院の無痛分娩

- 出産の痛みを和らげるために行います
- 硬膜外麻酔を使用します
- 麻酔科医が麻酔を担当します
- 産科医・麻酔科医・助産師が協力して分娩管理します

初産婦の実施の流れ

妊娠健診

無痛分娩予約申込書を提出

36週ごろ 血液検査 麻酔科外来受診

37週ごろ 無痛分娩説明・同意書

自然経腔分娩目的に入院

陣痛発来後、痛みが強くなった時点で、硬膜外カテーテルを挿入し麻酔薬投与開始します※

※硬膜外麻酔の開始は平日・日中のみの対応となります

硬膜外麻酔の方法

- 麻酔科医が背中から硬膜外カテーテルを挿入します
- 麻酔薬を定期的に投与し痛みを和らげます
- 痛みが強ければ自己で投与ボタンも使用可能です
- 麻酔中は心電図・血圧・酸素飽和度をモニターし、ベッド上ですごします

副作用・合併症について

- 分娩遷延 吸引分娩が必要となることがあります
- 血圧低下・徐脈・嘔気・嘔吐
- 発熱
- 分娩後頭痛・排尿障害
- 非常にまれな重篤な合併症

局所麻酔中毒

高位脊髄くも膜下麻酔

アナフィラキシー 神経障害

無痛分娩の説明同意書でくわしく説明いたします

費用について

- ・ 無痛分娩関連費用 別途約 15 万円（自費）
- ・ 硬膜外麻酔を開始した場合は、麻酔時間や効果にかかわらず上記費用が発生します
- ・ 硬膜外カテーテル挿入後に麻酔薬投与を行わなかった場合にも物品等の費用が生じます

無痛分娩ができない場合

- ・ 平日・日中以外に硬膜外麻酔の開始を希望された場合
- ・ 止血機能に問題がある場合
- ・ 産科合併症のため産科分娩管理が優先される場合
- ・ 分娩の進行が早く安全に硬膜外カテーテルが挿入できない場合
- ・ 麻酔科医が緊急対応のため、麻酔業務から手が離せない場合

予約について

- ・ 完全予約制です
- ・ 無痛分娩予約申込書を提出してください
- ・ 先着順 分娩予定日の月ごとの予約となります
- ・ 月ごとの予約数は分娩状況により変動します
- ・ 予約キャンセルがでれば予約順に繰り上がります

市立豊中病院 産婦人科

2025年12月